

振出しに戻った竹島問題

令和6年5月15日

(下條)

1. 節目を迎えた竹島問題

- (1) 「竹島の日」条令制定から20年
- (2) 日韓国交正常化から60年
- (3) 韓国の動向（尹政権の歴史認識）
- (4) 日本の対応（無為無策）

2. 憂慮すべき現状

- (1) 2月16日、「青年局定例会議」  
「竹島問題をはじめとする領土問題について」
- (2) 2月19日、第5回東京「竹島の日」大集会、衆議院第一議員会館  
「竹島問題の解決を阻むもの」
- (3) 2011年の領土議連「鬱陵島視察」と「竹島の日」のシンポジウム  
→政権交代→「領土主権対策企画調整室」（民主党政権時から）
- (4) 2013年～ 有識者会議→「国民啓蒙と情報発信」
- (5) 情報発信より研究機関の設置と発言→削除要請  
→「領土・主権展示館」（2018年）

3. 領土・主権展示館の課題

- (1) 独島体験館（2012年開館）との違い
- (2) 竹島・尖閣問題の現状と日本政府の対応
- (3) 領土担当大臣の存在意義（憲法68条の問題点）

4. 問題解決

- (1) 問題解決に向けて準備（領土問題・国家主権の関する研究機関の不在）
- (2) 竹島問題に関する研究機関の島根県への移行